

## 31-0688 W1-2

ヘルペスウイルス感染症に対する天然メシマコブ抽出物の有効性

林 京子<sup>1</sup>, ○林 利光<sup>2</sup>, 李 貞範<sup>2</sup>, 兼清 健志<sup>2</sup>, 高橋 宏之<sup>3</sup>, 平山 秀樹<sup>3</sup>, 重本 桂<sup>3</sup> (<sup>1</sup>富山医薬大医, <sup>2</sup>富山医薬大薬, <sup>3</sup>日本生薬)

【目的】新興・再興感染症が社会問題化しているが、単純ヘルペスウイルス (HSV) を巡っては、最近、高齢化や医療の高度化に伴う回帰発症率の上昇やエイズウイルスの罹患率上昇と感染症状の促進への関与が注目されている。現在、臨床利用されている抗 HSV 薬には、副作用や耐性株の出現、経済的負担などの問題があるため、新たな治療薬の追加が必要となっている。本研究では、天然メシマコブ子実体熱水抽出物について、*in vitro* 及び *in vivo* での抗ウイルス活性試験と HSV 感染実験を行ない、その有効性を評価した。

【方法】天然メシマコブ子実体熱水抽出物について、10 種類のウイルスに対する増殖抑制効果を検討した。*In vitro* における抗ウイルス活性は、試料の増殖阻害活性 (IC<sub>50</sub>)と細胞毒性 (CC<sub>50</sub>) の比 (CC<sub>50</sub>/IC<sub>50</sub>) を算出して評価した。一方、*in vivo* での抗ウイルス活性は、HSV-1 をマウスの眼に接種後、試料を経口投与し、死亡率、体重の変化、症状の進展及び血清中の中和抗体量を調べて評価した。

【結果及び考察】*In vitro* における実験系では、天然メシマコブ抽出物は、HSV-1(ACV 感受性株と耐性株)、HSV-2、サイトメガロウイルス、ムンプスウイルス、麻疹ウイルス、A 型及び B 型インフルエンザウイルスに対して有効であった。また、*in vivo* での感染実験では、無添加対照群に比べて天然メシマコブ抽出物は、死亡率、体重の減少及び症状を抑制した。感染 3 週間後の中和抗体価は、天然メシマコブ抽出物の投与によって有意に上昇し、逆に ACV 投与によって低下した。以上の実験結果から、天然メシマコブ抽出物は、ACV とは異なる抗 HSV 作用を示すことが明らかになった。